

当面の検討テーマ (実線の吹き出し部分は今回の議事、点線吹き出し部分は次回以降の予定)

※10-07-27 試案

年金記録問題についての“最終段階”までの工程表 (委員長私案) 10-03-29

(注) 7月頃に、ご審議願うための、事前配布、事前配布資料です。

①年金記録問題工程表 その後の進捗状況
a)画像データの件数と第1次 不適合率
<資料 2>

②画像データとオンライン記録との 突合済み記録への対応

③厚年基金記録とオンライン記録との突合済み記録への対応

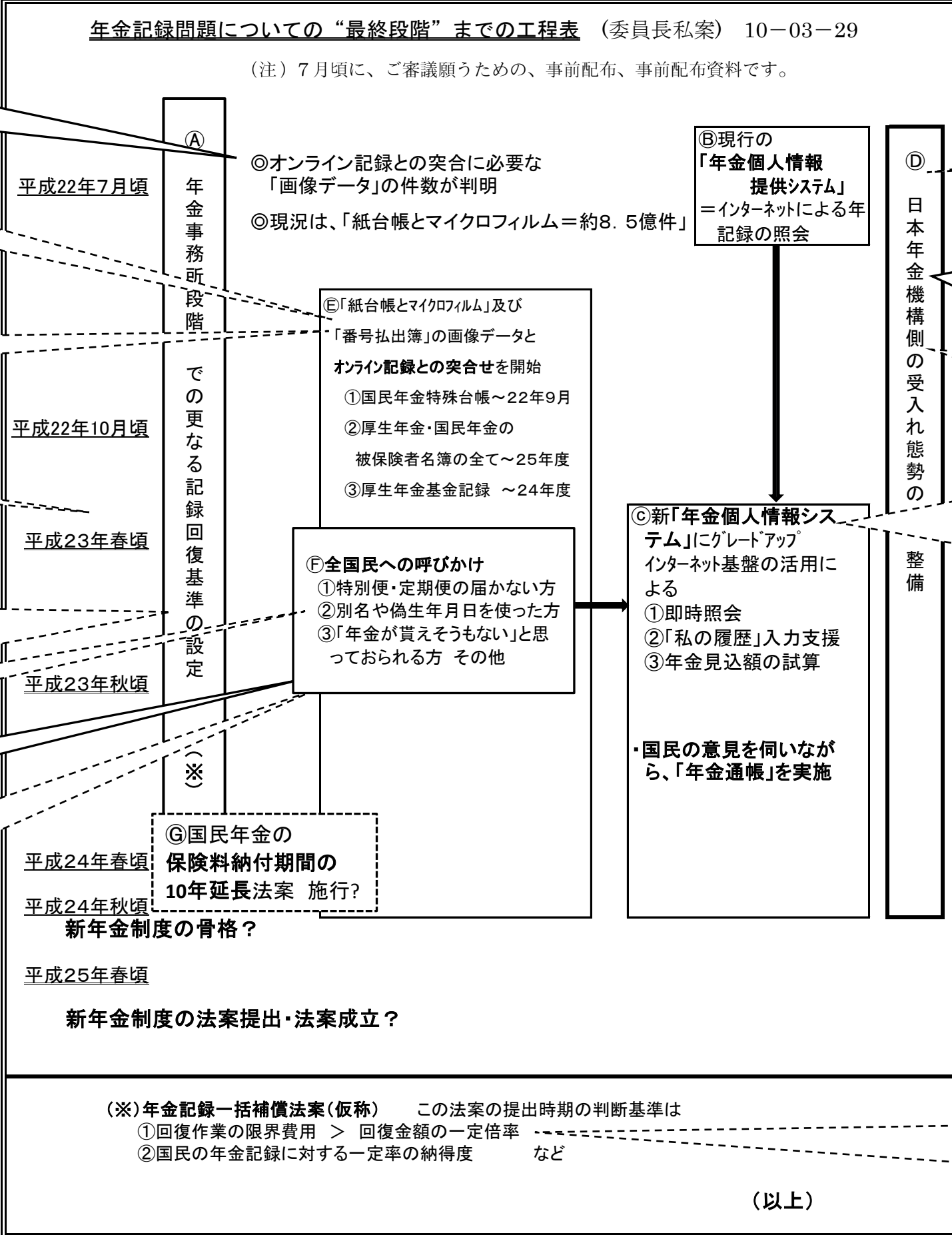
④記録問題と執行面からの新年金制度の検討にあたっての留意事項を整理

⑤申出記録についての、新たな回復基準の設定
a)企業・諸団体などへの突合せ依頼から
b)社労士のアンケートから
c)その他

⑥死亡者に係る記録についての取り扱い

⑦基礎年金番号の正常化 <資料 3>

⑧新年金制度への移行を見据え、個々人の年金記録を可能な限り確認(新年金制度施行までに)



イ 機構の運営上の課題 (担当部署・実行期限入り)

ロ 業務改善工程表 <資料 4>
・顧客対応履歴管理システム (相談履歴管理+記録訂正履歴管理)
・受付データ進捗管理システム

ハ システム再構築工程表

⑨ 新年金個人情報システム (23年春稼働予定)
a)ご本人の知らない記録の「部分開示」
b)ご本人だけが知っている記録の「入力・確認の支援」

自宅PC
事務所WM
郵便局PC?

⑩ どうしても持主が不明な記録の管理と検索方法
新制度移行後も、対応可能な方策の検討

⑪ どうしても発見ができない記録に関し、
・開示の方法
・一括補償を行う場合の補償内容、時期、規模の検討

(以上)